

共同礼拝（アドベント第1主日）

2024年12月1日(日) 午前10時30分

午後4時

司式 牧師 姜 徑米

奏楽 河野和雄 香西愛(夕)

前 奏

招 詞 イザヤ書 60章1, 2節

讃 詠 546

主の祈り

聖 書

イザヤ書 9章1～6節 (旧1073)

ヨハネによる福音書 3章16節(新167)

祈 禱

使徒信条

讃 美 歌 94

説 教 「神の意図」 牧師 高橋和人

祈 禱

讃 美 歌 II88

聖 餐 式

献 金

頌 栄 544

祝 禱

起立が困難な時は着席のまま礼拝します。

礼拝は前の方から静かに着席しましょう。

12月の祈り

アドベント・クリスマスを迎え、神のひとり子、真の神が真の人となられた救いの出来事を思い起こし、その恵みの光に導かれてこの時を歩むことができるように。

御言葉を光とし、礼拝を守り、心静めて祈りの時を持つことができるように。

高齢、体調などにより願いながら礼拝に集うことがかなわないでいる兄弟姉妹たちを覚えて。

クリスマスに向けての諸予定と備えが導かれ整えられるように。

戦争と紛争の地に平和がもたらされるように。

今日の祈り

アドベントを迎え主の来臨の待望にふさわしく心を整え信仰生活を守ることができるように。

教会、幼稚園、教会学校のアドベント・クリスマスの諸行事が支えられるように。

寒さ厳しくなる中弱っている兄弟姉妹が支えられるように。

「神の意図」 牧師 高橋和人

ヨハネによる福音書 3章16節

アドベントを迎えた。クリスマスへの歩みを意識する時となった。主の到来は教会の存在と信仰者としての生涯の出発点だ。全ての時において、クリスマスが生きる土台となっている。

16節は小福音書と言われ、聖書の中でも最も愛され親しまれている。難しい言葉はなく、誰にでも受け入れられる。しかし、これはくりかえし聞き直すことが必要だ。

特に今世界は不安に覆われている。戦争が止まずにある。その一方で、様々な思いがけない変化が生

まれている。しかし、期待よりも先の見えない不安が増しているのを感じる。揺れ動いている。その中で、これまでにない力が人の心を動かしている。

主は世が主イエスと弟子たちを認めず憎むことを語っている。神は世を愛されているのであろうか。

世について、聖書はむしろ主と弟子たちに対する世の対立を明らかにする。「光が世に来たのに、人々はその行いが悪い」「光よりも闇を好んだ」(3:19)、そして「わたしがこの世に来たのは裁くため」(9:39)と言われる。世は神なしにあらうとする。偶然や運不運の支配する自分中心の世界だ。

神は徹底的に愛される。愛には相手があり、向き合うことがなければならない。神は御自分をお持ちだ。そして、人と向き合われる。愛は選び、呼びかける。神は語り掛け、顔を向け、呼び出される。

愛は、愛されることを求める。たどたどしくとも、応答を求める。愛は思いやる(1コリ13:4)。愛以外の応答は意味をなさない。

聖書は神が人間的な仕方で向き合われることを語る。御自分のことを愛する者として啓示される。

その核心が主イエスの受肉、クリスマスになる。神は父として愛する独り子を愛さない者に与えられた。それは痛みを負う、そこまで愛される。主イエスによって神はそのお姿を表し(1:18)、愛する者の姿を示された。独り子は十字架を負われる。愛のなさにあらわれる罪の代償となられた。

信じることはこの方への応答。神の愛を認め受け入れる。これは線引きではない。主は陰府にまで宣教された。信仰にはあらゆる可能性がある。

クリスマスは激しい神の御業だ。それを受け止めるのは静かな信仰になる。そこに、滅びることのない新しい生き方が生まれる。永遠の命は主イエスによって神に結ばれていることを生きることだ。